

令和4年度 県立鹿児島聾学校 第3号

つづ まだまだ暑い日が続きます

~繁急時にも備えましょう~

夏休みが終わり、2学期が始まりました。どんな夏休みを過ごしましたか。2 がっき 学期は,みなさんにとって,楽しみにしている行事や学習もたくさんあります ね。9月になって、少しずつ涼しくなってきていますが夏の猛暑ほどではなく ても、汗による補聴器や人工内耳のなどの故障の心配は、まだまだ続きます。 また、台風が襲来しやすい時季で、台風に備えて警戒する必要もあります。 ほちょうき じんこうないじ ふぐあい で 補聴器や人工内耳に不具合が出たときには,すぐに補聴器業者に行きましょう。 かき 下記のことにしっかりと留意し、いつもいい状態での聴覚活用を心掛け ましょう。

りくつチェックできるかな?家族の人と一緒にやってみよう!!

(できているものには、<a>しましょう!!)
まいにち ほちょうき じんこうないじ そうよう

- まいにち ほちょうき じんこうないじ そうよう 毎日、補聴器や人工内耳を装用している。
- まいあさ でんち
- 毎朝、電池チェックをしている。
 ほちょうき じんこうないじ こうおんたしつ ばしょ
- 補聴器や人工内耳を高温多湿になる場所には置かないようにしている。
- 汗カバーを付けている。
- あめ みず ぬ ほちょうき じんこうないじ はず ばあい 雨や水で濡れそうな場合は、補聴器や人工内耳を外している。
- かんそう ほかん 使わないときは、乾燥ケースに入れて保管している。
- でんち かんそう よわ でんちがんそうよりがんそうがんとうがしていない。電池は乾燥に弱いので、乾燥ケースには入れていない。
- かんそうざい ゃくだ ちょっく 乾燥剤が役立っているかチェックをしている。 でんちしつ ていきてき そうじ
- ゴグイヤモールド、電池室は、定期的に掃除をしている。

 はちょうき じんこうないじ ちょうし おも はちょうき はんこうないじ ちょうし おも はちょうき はちょうきや 神聴器や人工内耳の調子がおかしいと思ったら、補聴器については補聴器屋さんへ、 じかつたんとうしょくいん じんこうないじ びょういん そうだん じかったんとうしょくいん たんにん 人工内耳については病院へ、すぐに相談をしている。または、自活担当職員か担任へ たんにん
- も連絡をしている。

U お知らせ

これまで、9月~10月にかけて行われてきた「光電鹿児島」と「鹿児島補聴器 せんたー センター」による『補 聴 器性能チェック』は 行 いません。それぞれの御家庭で ていまてき 定期的にそれぞれの業者と連絡をとって、補聴器点検を行ってください。

※ 今後とも, <u>事前予約に限り</u>, 13時からの「光電鹿児島 (火曜日)」と「鹿児島 ほちょうき せ ん た - もくようび たいおう ひ つづ おこな 補聴器センター(木曜日)」の対応は引き続き 行っています。



いくつ、🛭 できたかな?



はなけれる(話す検査)

普節しべルで母音や各字音の発音要領が習得できているか、また後続 母音の明瞭度を検討することにより、答覧の母音の発音要領が習得で きているかを調べます。

- 1 児童生徒は、染められたうシダムに装売される五半音(例えば、「あ」、「ぎゃ」など) を100間読み上げる。その発音したものを録音する。
- 3 どのように聞こえていたのかを数値化して、 得手不得手の発音傾向を知る。

こおんべんべつけんさ 語音弁別検査 (聞く検査)

「あ」とか「き」などの単音節で構成された語音リストを使い、どの くらい証しく聞きとれるか正答率を調べる検査です。音の大きさを変 えながら聞き取りを調べます。

○ 語音弁別検査は、髄分測定が純音検査であるのと対照的に、五半音を聞き取る検査 になります。

知っていますか??

えんかくしゅ わつうやく さ ー び す 遠隔手話通訳サービス

- ビス 〜 ਙ 前 の 登録・ 予約 が 必要 で す! 〜

たった。 電気に含くときや災害発生時に、遠隔手話通説も一ビえを利用することができます。 手話通説者が直接対面せずに、離れた場所でえず木やダブルットを使用して、 手話通説を受けるサービえです。

ぐたいてき りょうもくてき 具体的な利用目的

- しんがたころなう いる すかんせん しょうじょう ひょういん ひーレーあーるけんさ こうげんけんさ かくちんせっしゅ 新型コロナウイルス感染の症 状があり,病院・PCR検査・抗原検査・ワクチン接種など受診するとき
- □ 新型コロナウイルスに感染し、入院や自宅療養している(する)
- □ 濃厚接触者となり、自宅待機している(する)
- □ 災害時に避難又は避難所で待機している(する)

「対象者」県内在住の手話通訳を必要とする聴覚障害者

【利用時間】 質聴質障害者情報も少多一開館日の年前8時30分から午後5時(原動) 【利益用 報】 無料 (ただし、 えやードラオンなどの利用時の通信料は利用者質担) 【利用の流れ】

- ① 事前に県聴覚障害者情報センターに登録が必要(FAXかメール)
- ② 実際の利用時には、事前に「利用的送書」(FAXかメール)を提出 ※繁急時は事後で句
- ③ 使前する $^{\circ}$ プリは、「LINE」または「 $^{\circ}$ kype」

〒890-0021鹿児島市小野一丁曽1番1号パートピラかごしま3階 FAX 099-229-3001 / TEL 099-220-5896

shuwa@shichocentaer.kagoshima.kagoshima.jp